

2012年11月6日（火）

18:00～19:45

会場：東京外国語大学

講義棟115教室

言語：日本語、スペイン語、
バスク語（通訳付き）

入場自由



KIRMEN URIBE Lecture & Dialogue “Basque Writing in the Global Scene”

バスク語から世界へ 作家キルメン・ウリベを迎えて

現代バスク文学の書き手として国際的に活躍するキルメン・ウリベ氏を迎え、10月に邦訳が刊行されたばかりの小説『ビルバオーニューヨークービルバオ』（白水社刊）や他の作品について、今日の世界におけるバスク語作家としての視点について対話します。バスク語での朗読も聴くことができるまたとない機会です。言語と社会、現代文学について幅広い関心をもつ方々のご参加をお待ちしております。

<構成（予定）>

第一部：キルメン・ウリベ氏講演
（バスク語による朗読を交えて）

第二部：鼎談

キルメン・ウリベ

今福龍太（東京外国語大学総合国際学
研究院教授）

金子奈美（『ビルバオーニューヨークー
ビルバオ』翻訳者、東京外国語大学大学院
博士後期課程）

主催：東京外国語大学総合文化研究所

共催：今福龍太研究室 kuribe.japonian@gmail.com

協力：白水社、エチェバレ・インスティトゥート



※会場についてのお問い合わせは、総合文化研究所（Tel. 042-330-5409）にお問い合わせいたします。

内容については、上記のメールアドレス（担当：金子）までお問い合わせ下さい。